

## 野沢菜伝来の街道ウォーク事業

### 取り組みに至る背景・事業の目的

宝暦年間に京都より種を持ち帰ったとされる野沢温泉村の健命寺第8代住職晃天園端大和尚により伝わった「野沢菜」のルーツを辿り、250余年前に思いを馳せるとともに、北陸経由のコースを歩き、2015年春に開業となる北陸新幹線飯山駅の告知を行い、野沢温泉村への最寄り駅は飯山駅であることをPRする。

### 事業内容

- ・10月3日に大阪「四天王寺」をスタートし、京都～滋賀～福井～金沢～富山～上越をリレー形式でつなぎながら、野沢温泉村までの全長約600kmを30日で踏破した。
- ・ゴールは11月1日開催の「野沢菜蕪主総会」（野沢温泉観光協会が主催する「野沢温泉のざわな蕪四季曾社」の総会）の会場とし、蕪主に踏破の報告を行った。
- ・参加者については、地域住民はもとより県内外に参加を募り、延べ350人の参加があった。



【福井では地元のかぶらの会会員が友情参加】

### 事業効果

- ・600kmの行程中、新幹線飯山駅開業の告知と野沢温泉の宣伝チラシを3,000人以上に配布するとともに、「北陸新幹線飯山駅開業」のロゴを印刷した「野沢菜の種袋」も配布しながら、コース沿線の住民の皆様と会話をかわしPRに努めた。
- ・また、話題性があることから、信濃毎日新聞、福井新聞、中日新聞、大阪日々新聞他新聞への掲載が19紙、ラジオへの出演が、FM湘南、福井放送、北陸放送他11番組と、全て無料で取り上げていただき、金額換算できないほどの効果があった。

### 工夫・苦勞した点、課題、今後の取り組みなど

本事業へ参加したことがきっかけで、リピーターとなっていただくなど、特に馴染みの薄かった福井、石川方面とのかかわりができたため、今後は北陸方面への宣伝展開も図りながら、新幹線効果へと結びつける取り組みを着実に進めていきたい。

#### 【選定のポイント】

野沢菜のルーツを辿り、大阪天王寺から野沢温泉村までの約600kmを30日、飯山駅開業をPRしながらリレー形式により歩き繋ぐというユニークな取組である。

延べ350名の参加があり、県外の新聞やラジオでも数多く取り上げられる等、本事業における野沢温泉村や北陸新幹線飯山駅のPR効果は計り知れないものとなった。

今後、信越9市町村を構成する各団体が地域の特色を活かして飯山駅開業や信越自然郷をPRをしていくことは大変重要であり、本事業のような取組を参考に各地域でもこのような取組が行われることを期待したい。

団体名 一般社団法人 野沢温泉観光協会（野沢温泉村）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 0269-85-3155	事業費	934,198円
ホームページ、メールアドレス info@nozawakanko.jp	支援金額	507,000円